

している現場まで入りました。

●原子力防災についての講義・意見交換

○13日 9:00～11:10

・日本原子力研究所に勤務し、退職後に東海村で原子力専門技術者を勤め、JCO事故の際に事故対応を行った両角実氏から原子力防災についての講義をいただきました。



原子力防災についての意見交換

・永年原子力防災に携わって得られた経験から得られた教訓について、JCO事故時の生々しい体験を交えて大変参考になる話を伺うことができました。

第11回定例会を開催しました

日時 平成16年3月15日(月) 18:30～20:30
 場所 柏崎市市民会館・第1会議室
 出席者 23名 (欠席1名)
 説明者 原子力安全・保安院 成瀬統括安全審査官、保安検査官事務所・木野所長
 オブザーバー 新潟県、柏崎市、刈羽村、西山町、地域担当官事務所、東京電力(株)
 内容
 ・前回定例会以後の動き
 ・視察報告
 ・1年を振り返って、今後の進め方について
 ・会長について

■前回定例会以後の動き

前定例会以後の動きについて、新潟県、柏崎市、東京電力から説明があ

りました。(P12の発電所の動きを参照) なお、このうち、管理区域外への物品の持ち出し問題について、原子力安全・保安院から次のような説明とそれに対する意見がありました。

○調査内容

・2月20日から3月12日まで行われた保安検査において、放射線管理・廃棄物管理に関する社内規定の整備状況及び現場での遵守状況等について検査。

○調査結果

・社内規定等に定められた方針等には問題なかった。
 ・社内規定の整備に関しては、搬出可能な物品の範囲が明確でないなど品質保証体制に改善すべき事項が多々見いだされた。

・作業実態として社内規定に反して一部の物品が再利用されずに廃棄、また、汚染が検出された物の処置の記録が確でないケースもあった。

○保安院の見解

・品質保証体制について、方針を示した文書が不明確など改善が必要。
 ・再利用物として搬出された物品が廃棄されるなど、その取扱いに不適切